2026 年 11 月 2 日
一般社団法人日本損害保険協会　九州・沖縄支部

第２回よしとみこどもジョブキャンバスに出展

～子どもたちとタブレットや紙地図を使い地域安全マップを作成～

日本損害保険協会九州・沖縄支部（委員長：谷口　徹　損害保険ジャパン株式会社　常務執行役員）では、10 月 24 日（土）に福岡県吉富町で開催された「第 2 回よしとみこどもジョブキャンバス」にブースを出展し、20 名の子どもたちと地域安全マップを作成しました。

このイベントは、子どもたちがさまざまな仕事や体験にふれ、自分の将来に「夢を描く」きっかけとなるよう、吉富町青少年育成町民会議が主催、福岡県青少年育成県民会議・吉富町・吉富町教育委員会が共催し開催されたもので、11 の団体・企業が体験ブースを出展しました。

当支部では、子どもたちと、ぼうさい探検隊（※）専用のタブレットや紙の地図を使って、通学路における危険な箇所等を確認し、地域安全マップを作成する企画を実施しました。マップを作成した子どもたちからは、「楽しかった。交差点を渡るときは気を付けたい。」、保護者からは「通学路を改めて確認できてよかった。」等の声をいただきました。保護者・指導者に実施したアンケートでは、地域でまち歩きをしながら、子どもたちと地域安全マップを作成してみたいか尋ねたところ、「ぜひやってみたい」が 25%、「やってみたい」が 75%という意欲的な結果となりました。また、回答者の 90%の方から小学校や学童クラブで地域安全マップを作成する機会が欲しいとの回答が得られました。

当支部では、行政や関係団体とともに、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



マップ作成の様子



ブースの様子

※「ぼうさい探検隊」とは
子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004 年度から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で 23 回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。